

# 第49回札幌矯正管区教誨師研修大会

## 研修事業評価委員会（自己評価Ⅰ）議事録

### 1 日時

平成25年6月21日（金）午前11時35分から午後零時15分まで

### 2 場所

ロワジールホテル函館（北海道函館市若松町14番10号）

### 3 出席者

#### (1) 事業者

札幌矯正管区教誨師連盟会長（大会長）	松本哲朗
札幌矯正管区教誨師連盟事務局長	天野広輝
函館少年刑務所教誨師会会長（大会委員長）	原 顕彰
函館少年刑務所教誨師会副会長	山口道雄
函館少年刑務所教誨師会副会長	加藤友光
月形刑務所教誨師会会長	相河孔明
月形学園教誨師会会長	藤澤正記
千歳教誨師会会長	宮本正尊

#### (2) 外部関係者

札幌矯正管区成人矯正第二課長	竹内正雄
函館少年刑務所統括矯正処遇官（教育）	柴田信久
函館少年刑務所教育専門官	川又茂雅
月形刑務所統括矯正処遇官（教育）	山田一夫
月形学園統括専門官	大坂 悟
札幌刑務支所統括矯正処遇官（教育）	野田雅子
札幌刑務所教育専門官	井原祥博
札幌矯正管区成人矯正第二課教育専門官	岡本 亮

### 4 議事内容

#### (1) 今回大会評価

##### ア 加藤函館少年刑務所教誨師会副会長

記念講演の内容は非常にわかりやすく、テーマと合っていた。研究発表については、活発な意見交換がなされ有意義であった。

##### イ 山口函館少年刑務所教誨師会副会長

記念講演のテーマである更生保護は、出所者に対する対応が非常に参考になった。死ぬまで勉強だと思う。

##### ウ 原函館少年刑務所教誨師会会長（大会委員長）

講師の選定については、再犯防止が問題となっている折り、教誨活動の充実に資する題材を持っておられる方を念頭において探した。実際に講演を聞き、私達教誨師も被収容者が再犯しないように、頑張らなければならぬ。

エ 天野札幌矯正管区教誨師連盟事務局長

講演内容は大変素晴らしく、更生保護の概要についてわかりやすく理解できた。研究発表についても、教誨活動の具体的なイメージを持つことができて良かった。

オ 松本札幌矯正管区教誨師連盟会長（大会長）

記念講演については、再犯防止に資する内容であり、教誨活動に大いに参考となる点があり、大変良かった。また、研究討議については、発表者がそれぞれのテーマについてよく研究され、活発な質疑応答もあって、よい機会とすることができたのではないかと感じた。また、宗教のバランスがよく取れており、仏教だけに偏らないのが良かった。今後、被害者の視点を取り入れたテーマ等について、教誨活動も考えていかなければならないと感じている。

(2) 外部関係者発言要旨

ア 柴田統括矯正処遇官（函館少年刑務所）

大会運営自体はスムーズに進めることができ、各教誨師にとって、有意義な大会とすることができたのではないかと感じた。記念講演の講師の話は大変分かりやすいものであったと思われる。

イ 山田統括矯正処遇官（月形刑務所）

大会運営について、函館少年刑務所教誨師会の皆様が積極的に運営していたことが印象的であった。大会全般についてもスムーズに流れ、研修の目的を達するために支障となる点は見当たらなかった。

(3) アンケート概要

ア 研修テーマについて

大半の参加者が「適切だった」と評価した。

イ 研修内容について

大半の参加者が「適切だった」と評価した。

ウ 研修の成果について

大半の参加者が「大いにあった」と評価した。

エ 実施体制について

大半の参加者が「充分だった」と評価した。

オ その他について

「毎年、素晴らしい先生の講演を聞くことができるので、先生方のお

話を思い浮かべながら受刑者と向かい合うことができる。他の教誨師の活動や悩みを聞いて自身の糧とすることができる。」等の肯定的な記載が多かった。一方で、「宗教教誨の本義に戻り、『宗教教誨とは何か』の研修が必要だと思います。」という意見の記載もあった。